

掲載号	7 月 4 週号	
筆者	所属	東総野菜研究室
	職名及び氏名	室長 草川知行
題名	ソラマメのハウス栽培における冬期収穫	
備考	【図説明】 図1 L字仕立てとU字仕立て(慣行)の比較 表1 仕立て法の違いによる月別収量及び粗収益の比較	

【本文】

ソラマメは初夏を感じさせる野菜ですが、1、2月でも料亭などで需要があり、鹿児島産が高い単価で取引されています。千葉県でもハウス栽培で冬期収穫でき、暖房費が安く、新鮮な素材を提供できることから大変面白い品目です。

ソラマメを1、2月に収穫するには、播種は8月中旬に行います。ソラマメは低温に当たることで花をつけるので、春化处理を行います。処理方法は、まず播種箱に深さ5cm程度土を入れ、種子の「おはぐろ」を下にして2/3ほど埋め込みます。用土は肥料分の少ない砂が良く、十分にかん水します。根が少し出始めたところで、乾かないようにポリフィルムなどで播種箱を覆い、3～5℃の冷蔵庫で約3週間冷蔵します。その後鉢上げ、育苗し、10月上旬にビニールハウスに定植します。

ハウス栽培には、L字仕立てが向いています(図1)。L字仕立ては、110cm幅のベッド片側に株間60cmで定植し、4本の分枝を反対の端まで約100cm地這い誘引させた後に立誘引を行います。L字仕立ては慣行のU字仕立てに比べて総収量の差は認められませんが、株当たりの収量が多く、特に1、2月の収量が増加します(表1)。

ハウスの換気はソラマメの生育適温である20℃を目安に行います。冬期に開花するソラマメには凍結しない程度の暖房(設定2～3℃)が必要となりますが、暖房最低温度を低く設定できることから、暖房コストを低く抑えることができます。

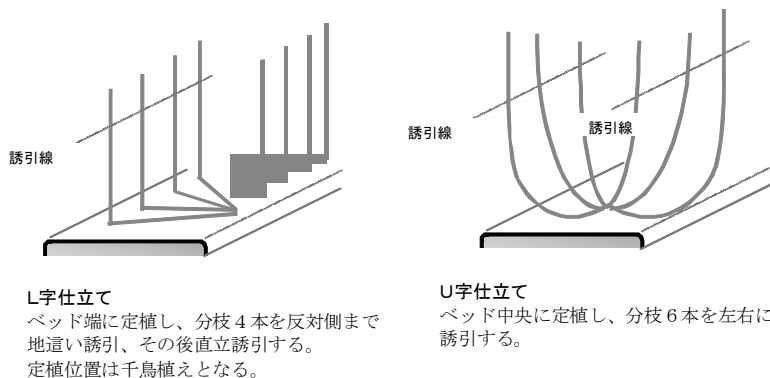


図1 L字仕立てとU字仕立て(慣行)の比較

表1 仕立て法の違いによる月別収量及び粗収益の比較

仕立て法	月別収量(kg/10a)				合計
	1月	2月	3月	4月	
L字仕立て	200	285	1,230	2,360	4,080
U字仕立て	95	227	1,220	2,590	4,130
	粗収益(千円/10a)				合計
L字仕立て	115	170	582	1,117	1,984
U字仕立て	55	136	577	1,225	1,993
大田市場平均価格(円/kg)	575	597	473	473	

注1) 播種8月14日、春化处理8月18日～9月12日、定植10月7日  
 2) 粗収益は月別収量に月平均価格を掛けて求めた  
 3) 大田市場平均価格は2006年から2010年の5か年の平均値